



## パソコンを活用して

### よりよい暮らしを

Vol.84

藤本 寛さん  
(室の木町在住)

NPO法人岩国パソコンの会理事長。初心者や高齢者にパソコンの楽しさや便利さを伝える講座を、市内各地で開催している。また観光ボランティアとしても活動を続けている。



私たちの生活に大きく関わるようになった、パソコンやインターネット。初心者にも分かりやすく、楽しんでパソコンを学べる講座を行っている「NPO法人岩国パソコンの会」の理事長を務めているのが藤本寛さんです。

13年前、長年勤めた会社を定年退職した藤本さんはハローワークからの勧めで3カ月程パソコン講座を受講しま

▼図書館で行われたパソコン教室で、講師を務める藤本さん



した。勤務時代には仕事に必要な文書を作成するくらいでしたが、受講を重ねるごとに、効率的に作業を進められるパソコンに面白さを感じたといえます。そんな時に存在を知った、会の前身となる岩国市図書館情報ボランティアの会に入会。退職後に受講していたパソコン講座でエクセルやワードの検定試験を受けていたことも役立ち、講師を務めるようになります。

会では、講座を市内各地の公民館などで年間400回程度開催しています。内容はマウスの使い方など初心者向けのものから、ワードやエクセルの初歩、インターネットの使い方などさまざま。「講座を行うときは、いつも受講者の方と同じ目線に立ち、共に勉強するつもりで臨んでいます」

という藤本さん。講座で使用するテキストは、初めての人に分かりやすいよう、会員で協力し一から作り出したものです。「キーボードを触るのも初めてという高齢の方で、講座に参加されて海外に住むお孫さんとメールを楽しむようになった方がいました。『こんなに楽しいことがあったよ、ありがとう』と言ってもらえたときは嬉しいですね」

NPO法人として活動して、今年で10年を迎えるパソコンの会。藤本さんに今後の目標を尋ねると「パソコンが使える人と使えない人との間には、得られる情報、作業にかかる時間などに大きな格差が生じます。特に高齢の方には、田舎に住んでも快適で楽しい生活を送ってもらいたい。その道具の一つとしてパソコンを活用してもらえよう、これからも活動していきたいです」と笑顔で語ってくれました。



▲発足当時のボランティアの会から設立10年を記念して記念誌を発行



▲観光ボランティアとして広島俳句の会のメンバーを吉香公園へ案内